

訪問看護ステーションとの 教育人事交流

令和8年度
看護部看護職対象



看護部看護職 対象

訪問看護ステーションにて訪問看護の実際を学び、地域での暮らしを見据えた看護と退院支援ができる能力を育成することを目的としています。

看護職キャリア支援センター

-----人事交流部門事業

訪問看護ステーションとの教育人事交流では、訪問看護ステーションでの同行訪問を通して、患者の医療・ケアを支えている社会資源や多職種の連携を理解し、地域医療や患者の退院後の生活に向けた看護を考える機会となっています。

研修施設

- 医療法人社団 ささえる医療研究所「訪問看護ステーション むらかみさん」
- 一般社団 北海道総合在宅ケア事業団「旭川地域訪問看護ステーション」
- 社会福祉法人 北海道療育園「訪問看護ステーション けあぷらす」
- 医療法人回生会「大西病院訪問看護ステーション」
- 医療法人社団萌生会「訪問看護ステーション クローバー」
- 社会医療法人道北勤労者医療協会「訪問看護ステーション ぬくもりポート」

対象

- ・ラダーレベルⅡ以上の看護職・看護師長の推薦のある看護職、かつ退院支援看護師育成研修アドバンスコース受講修了者、または今年度修了予定者で看護師長・看護部長の推薦がある者
- ・上記の要件を満たし、小児在宅移行支援研修受講を希望する者

目的

訪問看護ステーションにて訪問看護の実際を学び、地域での暮らしを見据えた看護と退院支援ができる能力を育成する

目標

- 1)旭川医科大学病院で医療を受けた患者を通して、地域医療や退院後の生活に向けた看護を考える
- 2)研修を通し、患者の医療・ケアを支えている社会資源、多様な職種がどのように関わっているかを知る
- 3)地域の病院・訪問看護ステーション等の見学・交流を通し、情報共有と相互の連携の重要性を理解する

期間及び時間

- ・当該年度の9月～11月の1日～4週間程度
- ・原則として、平日の昼間の8時間程度

研修方法

- ・訪問看護師とともに訪問看護を受けている療養者宅へ同行訪問を行う
- ・注射等の侵襲の伴う医療行為は行わない
- ・療養上の世話について同行する訪問看護師の助言を受けながら実施する

応募の時期

募集案内後、当該年度の教育人事交流希望者は、所属の看護師長に相談の上、「訪問看護ステーションとの教育人事交流申請書(様式1-2)」を記入し、所属の看護師長に**令和8年5月22日まで**に提出する

応募方法

ホームページに掲載している「訪問看護ステーションとの教育人事交流(研修編)要項」、「訪問看護ステーションとの教育人事交流(研修編)運用手順」、「訪問看護ステーションとの教育人事交流申請書(様式1-2)」をご覧ください。

看護職キャリア支援センター 人事交流

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/ncsc/exchange>

※教育人事交流申請書(様式1-2)に記載する交流内容、希望時期、希望期間はあくまでも希望であり、実際の交流日程や内容は交流先と検討の上、決定されます。



旭川医科大学
看護職キャリア支援センター
Nursing Support Center for Career Development, Education, and Research

作成日: 令和7年8月13日